

計画の策定にあたって<第1章>

計画の趣旨	2025年を迎える体制を整えるとともに、2040年も見据え、市が目指すべき高齢者福祉の基本的な方針や具体的な施策を定めるとともに、今後の介護サービス見込み量を推計し、介護保険料を決定するもの。
計画の期間	令和6年度から令和8年度までの3か年
計画の位置づけ	高齢者福祉計画（老人福祉法）と介護保険事業計画（介護保険法）を一体的に策定
日常生活圏域	南部地区 ：守山・小津 中部地区 ：吉身・玉津 北部地区 ：河西・速野・中洲

高齢者等を取り巻く現状と課題<第2章>

守山いきいきプラン2021（第8期計画）の取組内容および今後取り組むべき方向性は以下のとおりである。

基本目標1 健康寿命の延伸と元気力アップへの“いきいき”活動の推進

- **介護予防の普及啓発**
市内でのイベントや商業施設で健康相談会を実施し、介護予防の基本的知識の普及啓発を図った。
- **自主活動グループの活動支援**
地域での自主活動グループの活動に対して、新規立上げや、新型コロナウイルス感染症による休止後の再開に向けた支援等を行った。
- **保健事業と介護予防の一体的実施**
一体的実施により、重症化予防・フレイル対策を効果的に行った。

- **介護予防の普及啓発**
継続的な介護予防の普及啓発により、意識の醸成を図る必要がある。特にフレイル予防の重要性についてさらに周知する必要がある。
- **自主活動グループの活動支援**
自主活動グループの立上げ支援はもとより、担い手育成により、持続可能な体制づくりが求められる。
- **保健事業と介護予防の一体的実施**
介護予防に取り組むきっかけづくりをできる場が必要である。また、健康・介護予防に関心のない高齢者へのアプローチや地域との関わりがない人の状態把握が課題となっている。

基本目標2 みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進

- **地域包括支援センターの機能強化**
市内3圏域すべてに地域包括支援センターを設置し、地域と連携した相談支援体制の構築を進めた。相談件数は年々増加している。
- **在宅療養支援体制の充実**
「守山顔の見える会」を定期的で開催し、在宅医療・介護に関わる多職種連携を図った。
- **認知症高齢者等への支援**
地域や企業、小中学校での認知症サポーター養成講座、認知症カフェの活動やチームオレンジの立上げなど、認知症の高齢者を支える地域づくりを進めた。

- **地域包括支援センターの機能強化**
認知症への対応・高齢者虐待・複合的な課題を抱えている等の処遇困難事例が増加しているため、関係機関の連携による重層的支援体制を構築する必要がある。
- **在宅療養支援体制の充実**
在宅療養支援体制の充実を図るため、在宅医療・介護連携に関する情報周知や関係機関への研修等を行い、多職種連携をより一層推進する必要がある。
- **認知症高齢者等への支援**
認知症サポーターが活躍できる場が少ないため、地域づくりに向け協働できる体制が必要である。また、高齢による運転免許証の自主返納制度の周知および返納後の支援策の充実が課題となっている。

基本目標3 高齢者と家族を支える介護体制の充実

- **高齢者福祉サービスの充実**
配食サービス、緊急通報システム等によるひとり暮らし高齢者等の在宅での安心した暮らしの支援を行った。
- **地域づくりの推進**
生活支援コーディネーターを中心として、地域課題の解決に向け、現在取り組んでいる内容等の見直し、拡充を図った。
- **地域密着型サービス等の充実**
小規模多機能型居宅介護や特別養護老人ホームの整備を行った。
- **介護人材の確保・育成**
近隣市・関係団体等と連携した取組や市単独補助による支援を行った。

- **高齢者福祉サービスの充実**
ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の増加に伴う、ニーズ把握、生活支援の充実に取り組む必要がある。
- **地域づくりの推進**
生活支援ボランティア等のインフォーマルサービスについて、ケアマネジャーや市民への周知・啓発が必要である。
- **地域密着型サービス等の充実**
既存施設の利用状況や待機状況を踏まえた計画的な施設整備を行う必要がある。
- **介護人材の確保・育成**
慢性的な介護人材不足が課題であり、市独自補助金の補助対象等を見直すとともに、近隣市や関係団体等と連携した事業を継続して取り組む。

取組内容

課題・今後の方向性

基本理念

みんなで作る、生涯いきいきと暮らせるまち 守山

基本目標

基本施策

重要
施策

基本目標	基本施策	重要 施策
基本目標1 健康寿命の延伸と 元気力アップへの “いきいき”活動の推進	1. 積極的な健康づくり	
	2. みんなで取り組み、誰もが参加しやすい介護予防の推進	★
	3. 生きがいのある暮らしへの支援	
基本目標2 みんなで支え合う 地域共生社会の実現と 地域包括ケアシステムの 深化・推進	1. 地域包括支援センターの機能強化	★
	2. 在宅医療と介護の連携強化	
	3. 高齢者の尊厳の保持	
	4. 地域全体で取り組む認知症対策の充実（「共生」「予防」）	★
	5. 地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくり	★
	6. 高齢者の住まいと生活環境（移動支援等）の充実	★
基本目標3 高齢者と家族を支える介護 体制の充実	1. 介護サービスの充実と在宅生活への支援	★
	2. 介護人材の確保・育成・定着	★
	3. 身近な情報提供・相談体制の充実	
	4. 介護保険制度の適正・円滑な運営	
	5. 災害・感染症対策に係る体制整備	

第9期計画重点事項に係る具体的な取組

○地域の通いの場や認知症カフェ等への積極的な関与により、フレイル予防や認知症予防への取組を強化する。
 ○保健事業と介護予防の一体的実施により、生活習慣病対策・フレイル予防を効果的に行い、健康寿命の延伸を図る。
 ○地域リハビリテーション支援の推進（要支援者・事業者等へのリハ職による支援）

○圏域地域包括支援センターの体制を強化するとともに、基幹型と連携し、相談支援体制の充実と地域づくりの推進を図る。
 ○重層的支援体制の活用により、複合的課題等への対応強化を推進する。

○認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症に関する正しい理解、意識の醸成を図るとともにチームオレンジの立上げ・運営支援など、地域における支援体制の推進を図る。
 ○認知症初期集中支援チームによる集中的な支援により、認知症高齢者や介護家族における課題の早期解決を図る。

○高齢者が主体となった活動の立ち上げ支援や補助金の交付、地域の多様な主体の参加促進により、生活支援体制の整備を図る。
 ○アフターコロナのなかでの地域でのサロンや生きがいづくりのためのボランティア活動の再開など、参加のきっかけづくりや活動継続への支援を図る。

○認知症高齢者等、様々な事情により移動やごみ出し等の支援を必要とする高齢者への支援策の検討により、安心して生活できる環境の充実を図る。
 ○高齢者の多様な住まいの充実や住宅改修等によるバリアフリー化等への助成制度の周知を図る。

○住み慣れた地域で生活を続けられるよう、介護サービスの充実を図る。
 ○一人暮らし高齢者の増加など、社会情勢に応じた既存事業の見直しや新たな支援策の検討を行い、在宅福祉サービスの充実を図る。

○湖南3市および関係機関との連携による事業や市独自の補助金等により、介護人材の確保・育成・定着に係る支援を図る。
 ○職場環境の改善（文書削減、ICTの活用）による業務効率化を促進する。

介護保険事業の見込み
<第5章>

- 計画期間におけるサービス見込量を推計し、介護保険総事業費を算出、介護保険料基準額を算定

計画の円滑な推進
<第6章>

- 計画の進行管理と点検
- 計画の周知・啓発
- 関係機関・地域との連携